
band

Road where we ilve

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

band

【Nコード】

N5269M

【作者名】

R o a d w h e r e w e i l l v e

【あらすじ】

夢も希望もない少年コウ

コウのバンドマンへの道のり

ギター ユウト

ギター レン

ベース コウ

ドラム リュウ

この人達のバンドstory」

http://blog.livedoor.jp/nanase
240 / ブログ

チューニングstart

オレはいつたいどうなるんだろう？

やりたいこともないし、夢もない

けれど、そんなオレが見つけたものは夢物語だった

「おい」

こいつは、ダチのユウトすこしうるさいけどな

「なんだよ」

「じつは、オレギターはじめたんだぜ!!」

「???」

「は???お前が?」

なんでギターなんか

「ああそうさ。コウお前ベースやらねえか?」

オレが?なにを馬鹿なことを

「やってみようぜ!!」

そして流れて始めることになった

それから毎日一応やった

Bump of chicken

曲ばかりを

一週間後

「結構いいなベースも」

「だろ!!」

「ユウトか^o^;」

「そうだった!」

「ん?」

「ドラム探さないか」

「もしかして・・・」

「そう！バンドだよ！」

「いいかもな。でも見つかるか？」

「見つかるよ俺が頑張る！」

お前かよ・・・；

「どころでどこで探すんだ？」

「中学でだろ」

中学か・・・

友人は少ないほうだ・・・；

「そうか、まあ頑張れ」

「まあってなんだよ～～」

ドラム加入

「ユウト見つかったか？」

「・・・・・・見つかったぜ」

なんで疲れているんだ？

「どうした？」

「いや、この学校の子なんだけど・・・。」

「けど？」

「30kmも離れてたよ」

「30!？」

「片道で・・・。しかも朝来てって言われたからさ、いった結果これだよ」

「で・誰だ？」

「リュウだよ」

「あいつが？」

リュウは小学校の時から一緒だ。家には行った事ないが

「そだよ」

ガラガラー

「あ！リュウ！」

「あ？なんか用？」

「バンドだよ」

「ああ、バンドないけど」

お！

「ただ・・・・・・」

「ただなんだよ？」

「家がな」

三人とも「・・・・・・」

「ひ、一人暮らしとか」

「いって言われてるけど金が・・・」

「バイトだな俺の家の近くに家賃一万のところあるよ」

「コウの近くか」

「それなら親から少しもらえばな」

「決定—————」

「ユウト声でかい」

三日後

「こんにちはー。隣に引っ越してきたリュウと言います」

「お！早いな」

「これからは毎日あえるぞ」

ていうか三日でくるって速いにもありえん

「俺の家でユウト呼んでセッションしないか？」

「リュウの家でか。いいな」

二時間後

「始めるか」

俺のベースとユウトのギターとリュウのドラム
がはもる

それで俺達は、s a i l i n g d a yを弾いて解散した

俺は、今バンドをやってるがどうなんだろうーか

将来の就職

その夜眠れなかった

将来を考えた

真面目に就職するのか、バイトか、ニートなのか
ミュージシャンになんてどうせなれない

そつする内に夜が明けた

夜明け

考えた

将来の事 夢の事

結局わからなかった

なにも・・・・・・・・

どうなるだろうか？

俺の将来

夢は・・・・・・・・

ミュージシャンなんて無理だ

でも真面目に高校いって就職するのか？

そんなのは嫌だ

でも悩んでいたって

しょうがねえし

「まあオレには今バンドがある」

でも中学卒業した解散

嫌だそんなの

一人上京か？

音楽は好きだロックが好きだ

けれど・・・・・・・・・・・・・・・・

（朝）

「おっはよーーーーー」

「ユウト今日は元気だな」

「おう!!」

リュウだ

「はやいな・・・・・・・・ユウト」

相変わらずクールだ汗もかいてねえ

「お前が遅い」

「いやいやユウトが早すぎるんだ」

「そう、今日は合わせる?」

「セッションか？」

「いいだろう」

「じゃ、リュウの家に放課後レッツ漁——」

「字ちがくないか？」

授業ダリ——

さぼろっかな——体育

キーンコーンカー——

「終わった」

「ユウト・・・体育フケル」

「え・・・やんねえの？」

「ああ」

「リュウは？」

「パスる」

「ユウトガンバ（笑）」

リュウと一緒に将来を話したいからな

ユウトが来る前に言っておいてよかった

「体育」

「リユウ」

「ん？」

「大事な話がある」

「ん・・なんだ？」

「将来どうすんだ」

「高校いって音楽にのめりこんだら退学する」

「え・・・・・」

あっさりしていた

俺は退学なんて半端な事はしたくないな

・・・・・

高校は行った方がいいのか？

後親がなー

「そうか」

「悩んでんのか？」

「うん」

「高校お前がいかないたら俺も行かねえ」

「・・・・・・・・・・・・・・・・」

「わかった」

「冬までにのめりこんだら行かなきゃいい・・・・・・・・」

「そうするよ」

「ありがとな！」

先生「その見学うるさい!!」

「すいませーん」

放課後

「コウ」

「あ？」

「リュウとなに話してたんだ」

「なんで？」

「リュウに聞いたらコウに聞けって」

「将来だ」

「え・・・」

「実際どうすんだ？ユウト」

「バンド・・・・・・・・」

「そうか」

「俺ら二人は冬までにのめりこんだらバンドだ」

「まあ、セッションしようぜ」

リュウの家

演奏終了

「なんか空気重くねえか？」

「解散するか？」

「ああ」

解散

自宅

二人があんなこと思っているとは思っていなかった

リュウは高校

ユウトはバイト

だと思っていた

まあ、いいか

ベースやってねむろ・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5269m/>

band

2010年10月10日20時22分発行